

ウサビ豊穡 「産業まつり編 その2」

ウサビ豊穡 「産業まつり編 その2」

産業まつりのレポートその2です。

餅まきは大盛況。

参加者の皆さんと大いに盛り上がりました。





餅の偉大さをあらためて思い知ったウサビ

その一方で、中の人とはある準備に追われていました…

コチラは朝日町のお食事処「牡丹」さん



看板にもあるとおり、イノシシや鹿、クマのお料理を出す料亭さんです。

店内では

なにやらせわしく動く一団が…



学園祭の当日ってちょうどこんな感じのどたばただった…

彼らは、今月号の広報あさひまちでも紹介した

new アクション事業の中のひとつ

朝日町のお弁当を考える会「ツちゃこい旅会議」のメンバーです。

(中の人もメンバーのひとり)

new アクション事業は教育委員会が行っている人材育成事業で

地域の活性化に取り組む町の団体の、学習活動の経費を支援する取り組みです。

(広報あさひまち 11月号 9ページより抜粋)

「ツちゃこい旅会議」はその事業の支援を受け、

朝日町をイメージしたお弁当を開発していました。

今回は産業まつりにあわせて、実際にお弁当を試作して、

みんなに試食をしてもらうことになったのです。

どんなお弁当かというと、こんな感じ



メニューはというと

- ・舞茸御飯 (町内産つや姫(清流美人)使用)
- ・町内産放牧豚の塩焼き
- ・天然マス茸の味噌漬け
- ・もってのほか(菊)の胡麻和え
- ・おみ漬け
- ・りんご春巻き

という充実のラインナップになっています。

「ツチャこい旅」の考えたお弁当案をもとに

牡丹さんが実際のお弁当として完成させてくれました。

そしてまつり当日の朝は、

メンバー総出で箱詰め作業ということになったのです。

こちら会場では

今回は特別価格として 500 円で販売ということもあり、

販売開始の 11 時を前に、会場は長蛇の列ができていました…





お弁当販売の列です

その一方、牡丹さんの店内では



スピード感があふれる店内

この時点で 10 時 45 分

最後の箱詰め作業



業界では総員でギリギリの状況を乗り切ろうとする状態を修羅場と呼ぶ

開始 5 分前。

会場にお弁当到着！！



シラタさんが会場に駆け込む様子



会計の支度をする中の人とイシイさん(ツチャこい旅代表)

急いでお弁当を並べて……



試作品ということもありお弁当のパッケージはなんと6種類もある。

(中のメニューは同じ)

今回のパッケージは、あとリエマサトの三浦隆典さん(版画家)や、

東北芸術工科大学グラフィックデザイン学科の学生さん、

そして、わたくし中の人と3人が手分けして手がけています。

自分たちでやっというのもなんですが、

「なんだかお弁当らしいパッケージになったね～」

と三浦さん一緒に出来栄えに満足していました。



飾り用の楓を準備する三浦さん

いよいよ販売スタート！！



お弁当の行列が動き出しました。



販売数は限定 90 個です。



お弁当を Get して満足げな表情

なんと、開始 15 分後にはご覧の通り



11時15分の会場

2日間とも開始直後に完売という、

神がかった記録を達成しました。

お買い上げいただいた皆さんありがとうございます。

アンケートにいろいろなアドバイスを書いていただいたので、

「ツチャこい旅会議」では今後の企画に活かしてまいります。

なお、ツチャこい旅会議では、

一緒に朝日町ならではの弁当を考えてくれる仲間を募集中です。

興味がある方は教育委員会教育文化課(0237-67-2118)まで。

というわけで、無事、お弁当の販売を終えた中の人は、ふたたび再びウサビに戻ることに。

でも、さっき散々子どもたちにいじめられたので、

どうやって、対応すればいいのかちょっと悩んでいると……



チャックを開けられたり、踏まれたりと大変だった過去を思い出して

苦悩するウサビ

??? 「そういうことなら私たちに任せて!!!」

どこからともなく声が聞こえたのです。

ウサビ 「え??? どこどこ???」

??? 「ここよ! あなたの後ろよ」



声の主は後ろにいた

ウサビ「あ、あなたは！！」

次回、謎のお姉さん登場で、

ウサビが会場で比較的自由に大暴れ。

産業まつり編その3へと続く……